

多様な人が輝き、未来につながるまちづくり 自然と産業が共生するまちづくり



小川町は、都心から約 60 km圏という立地に恵まれ、美しい山々に囲まれた緑豊かな自然や先人から受け継がれてきた歴史文化、世界に誇る伝統産業が生き続ける町です。

平成 28 年に、町が行う様々な都市計画の指針となる「小川町都市計画マスタープラン」を策定し、「未来につなぐまちづくり」「自然と文化を活かした調和型のまちづくり」を理念としながら様々な取組を進め、令和 7 年 2 月に合併 70 周年を迎えました。

策定から 10 年が経過しましたが、その間、新型コロナウイルスの流行を契機とした新しいライフスタイルの確立、激甚化・頻発化する自然災害への対応、公共交通網の縮小、デジタル化の進行への対応、環境問題へ対応したカーボンニュートラルの実現など、社会環境は大きく変化しています。

本町においては、都市計画道路環状 1 号線の腰越～青山間の開通、道の駅おがわまちのリニューアルオープン、小中学校の再編などの都市構造が変化してきており、また、小川町第 6 次総合振興計画や小川町立地適正化計画など、まちづくりに関連する計画の策定や改定も進められています。

このような背景を踏まえ、第 6 次総合振興計画に示される「多様な人が輝き、未来につながるまちづくり」「自然と産業が共生するまちづくり」をまちづくり理念として、今後 10 年間を見据えた「小川町都市計画マスタープラン」の中間見直しを行いました。

町の将来像、「活力と安らぎ、住み続けたいまち おがわ」を実現するため、町民の皆様とまちづくりを推進してまいります。

本計画の見直しにあたり、貴重なご意見をいただいた町民の皆様、議会、審議会の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後におきましてもより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 3 月

小川町長 **島田康弘**

目 次

序章	計画の概要	
1	見直しの趣旨	2
2	位置づけと役割	3
3	構成と計画期間	4
4	計画策定体制	6
1章	小川町の現況と課題	
1	社会動向に対応したまちづくり	8
2	上位計画	10
3	小川町の現況特性	12
4	まちづくりに係る町民意向	25
5	まちづくりの課題	26
6	見直しの視点	28
2章	まちづくりの目標と将来都市構造（全体構想）	
1	まちづくりの理念と目標	30
2	将来フレーム	31
3	将来都市構造	32
3章	分野別方針（全体構想）	
1	分野別方針の考え方	38
2	土地利用方針	39
3	道路・交通整備方針	45
4	都市施設整備方針	47
5	自然環境・景観の保全、活用方針	50
6	都市防災の方針	52
4章	地区別構想	
1	地区別構想の考え方	54
2	小川地区の構想	55
3	大河地区の構想	70
4	竹沢地区の構想	83
5	八和田地区の構想	93
6	みどりが丘地区の構想	105
7	東小川地区の構想	112
5章	まちづくりの推進に向けて	
1	まちづくりの推進に向けた進め方	120
2	計画の進行管理と見直しの考え方	122
	資料編	123

